

Controller GMSK ver 06B Jun 2024 「HTML/Video」タグ操作体験記

Shu JA3GQJ

Controller GMSK ver 06B Jun 2024 の「HTML/Video」タグ (図1) には HTML に Video を埋め込んで送信できる興味深い機能があるので Windows10 のパソコンで操作体験したメモを PDF ファイルにしておく。体験中に処置したことや気付いたことを巻末にまとめる。



図 1

1. C:/Controller_EasySimple/HTML にテンプレートファイルを保存する 3 つのフォルダー (デフォルト、ユーザー 1、ユーザー 2) を作って、ファイルを保存する。
 - ・「デフォルト」→ HTML に Video を埋め込んだテンプレートを保存。
(JA0AYH さんのテンプレート (JQ1HDR さんのウェブページからダウンロード) を参考にさせて頂いたテンプレート。)
 - ・「ユーザー 1」→ JA0AYH さん、7k4PJL さん、PA0PID さんのテンプレートを

参考にさせて頂いたファイルを保存。

- ・「ユーザー 2」 → Web サイトに公開されているソースコードをカスタマイズしたスライドショー主体のファイルを保存。

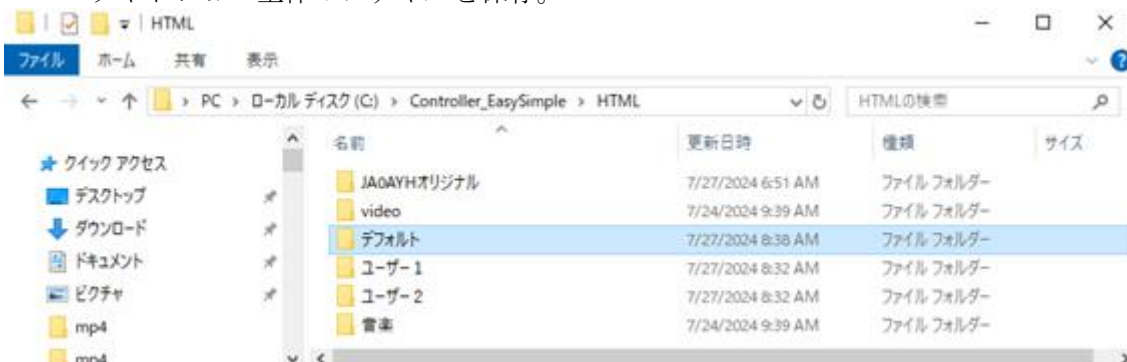


図 2

2. 「HTML/Video」 タグ (図 1-A) のテンプレートフレーム (図 1-B) の「デフォルト」、「ユーザー 1」、「ユーザー 2」のラジオボタンを選択して「Set」ボタンでテンプレートファイルを保存したフォルダーを割り付けて表示されるリストから送信するテンプレートファイルを選ぶ。

(手順)

- ・ラジオボタンで「デフォルト」を選択する → 「Set」ボタンをクリック → 「フォルダーの参照」画面 (図 3) がポップアップ → C:/Controller_EasySimple/HTML を開く → フォルダー「デフォルト」を選択 → 「OK」ボタンをクリック → 使用するテンプレートファイルのリスト (図 4) が表示される。

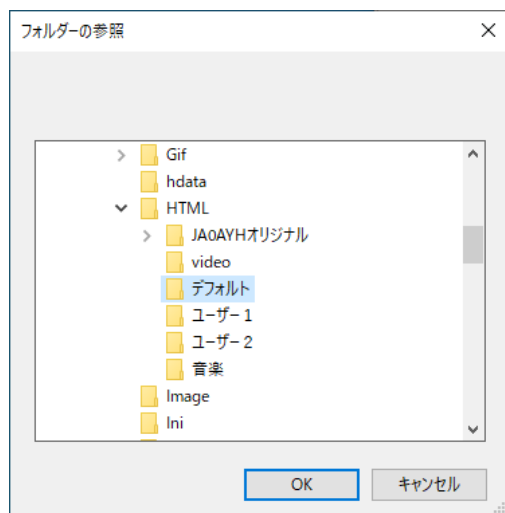


図 3



図 4

2. Video を埋め込んだ HTML ファイルの送信準備

- テンプレートフレームの「PC DATA」 (図 5-A) にチェックマークを付ける → ビデオ読み込みボタン (図 5-B) をクリック → mp4 ファイルがあるフォルダー (図 6) を開く → 送信目的の mp4 ファイル (図 6-A) を選ぶ → 「開く」ボタン (図 6-B) をクリック → 送信目的の mp4 ファイルが読み込まれる。

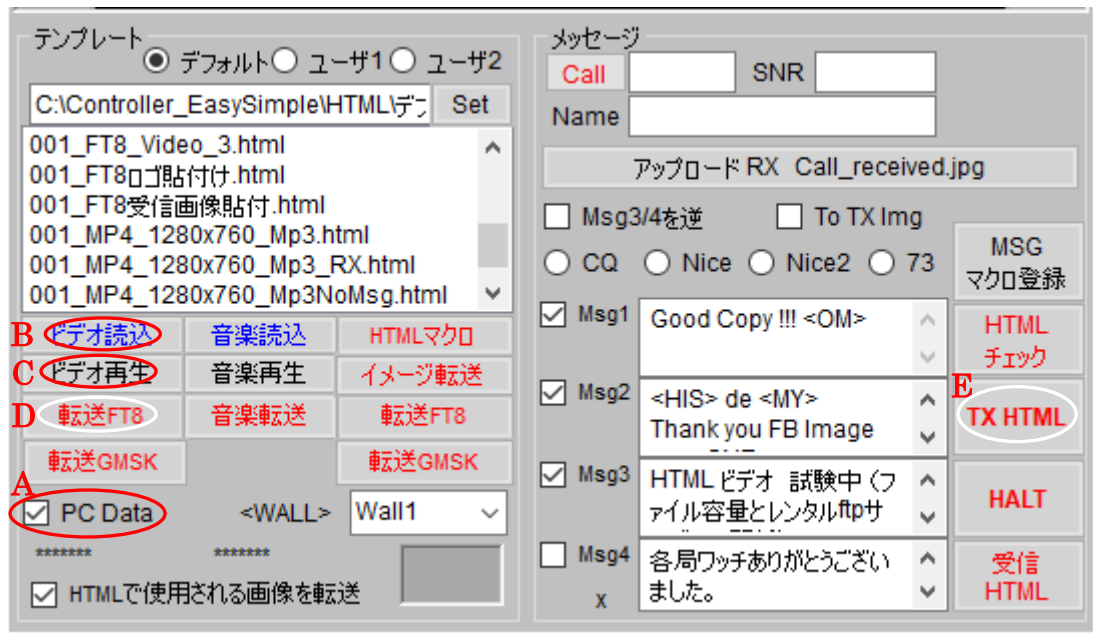


図 5

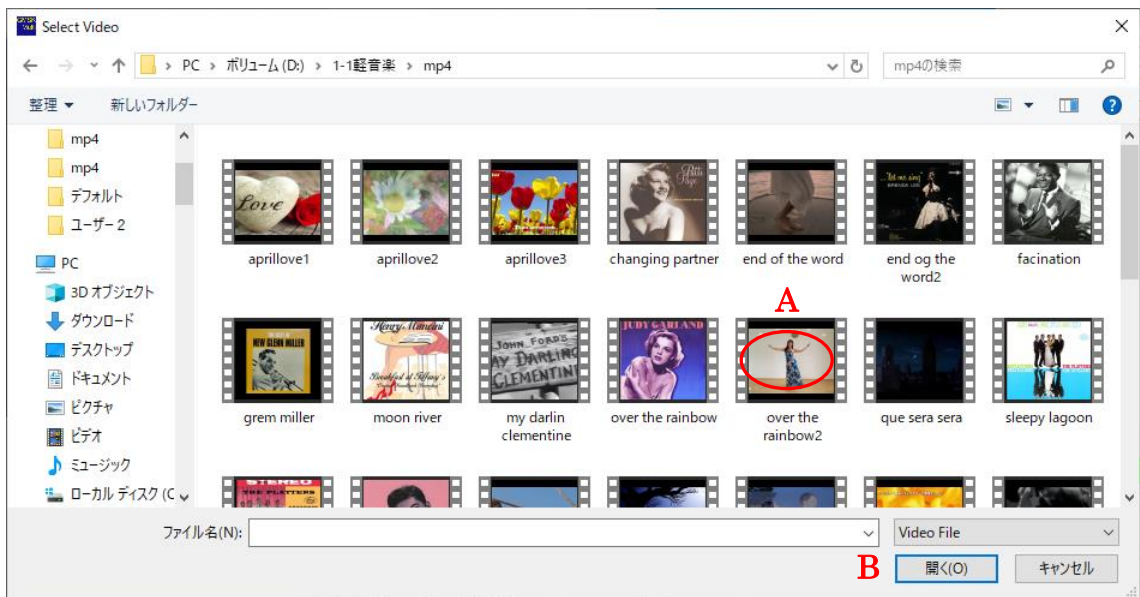


図 6

→ 「ビデオ再生」 ボタン (図 5-C) をクリックして読み込んだビデオファイル (図 7) を確認 → ※

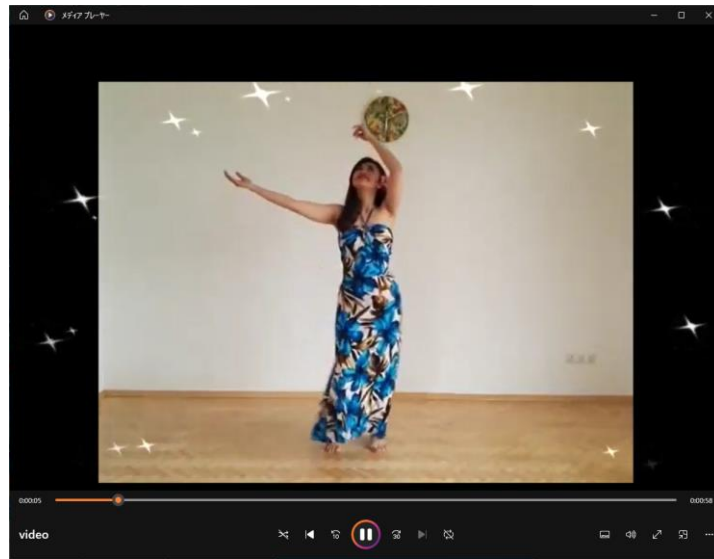


図 7

※ → 赤い文字の「転送 FT8」ボタン (図 5-D) をクリック → ポップアップするコメント画面の「OK」ボタン (図 8) をクリック → ftp サーバーにファイル名「JA3GQJ.mp4」でビデオファイルがアップされる (待ち時間必要)。 → 「転送 FT8」ボタンの文字が青色に変わる (図 9-A) と同時に「TX HTML」ボタンの表示 (図 5-E) が「TX/MP4」に (図 9-B) 変わって文字も青色に変わる。

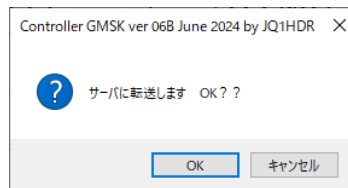


図 8

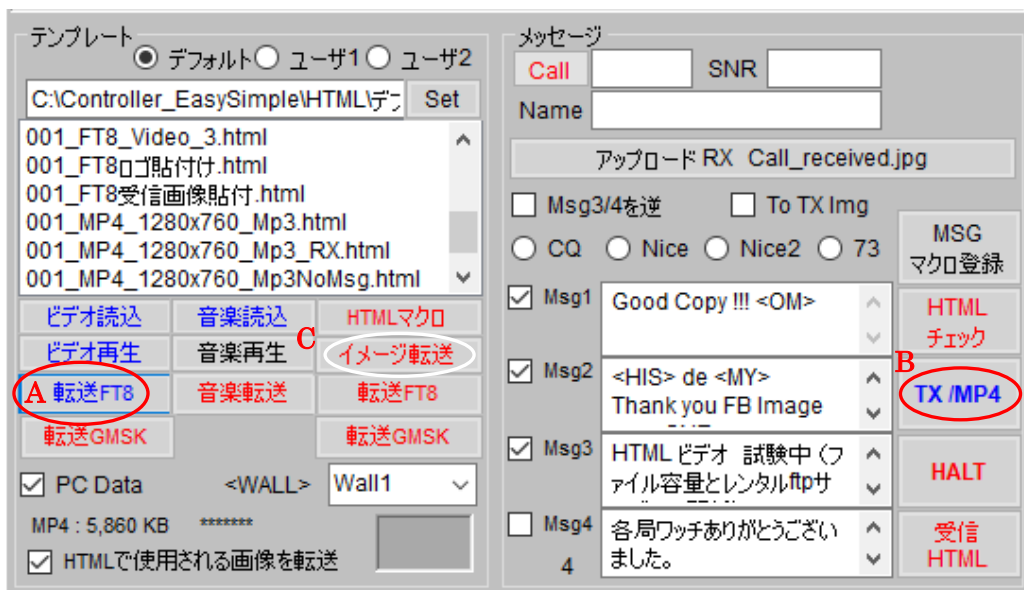


図 9

デフォルトのリストから「001_FT8 ロゴ貼付け」を選択 → 「HTML マクロ」ボタン (図 9-C) をクリック → 「ビデオ再生」ボタン (図 5-C) で確認したビデオがロゴ付き (図 10-A) で一時的に再生される。 → 「HTML マクロ」ボタン (図 11-A) の文字が青色に変わる。 → ※

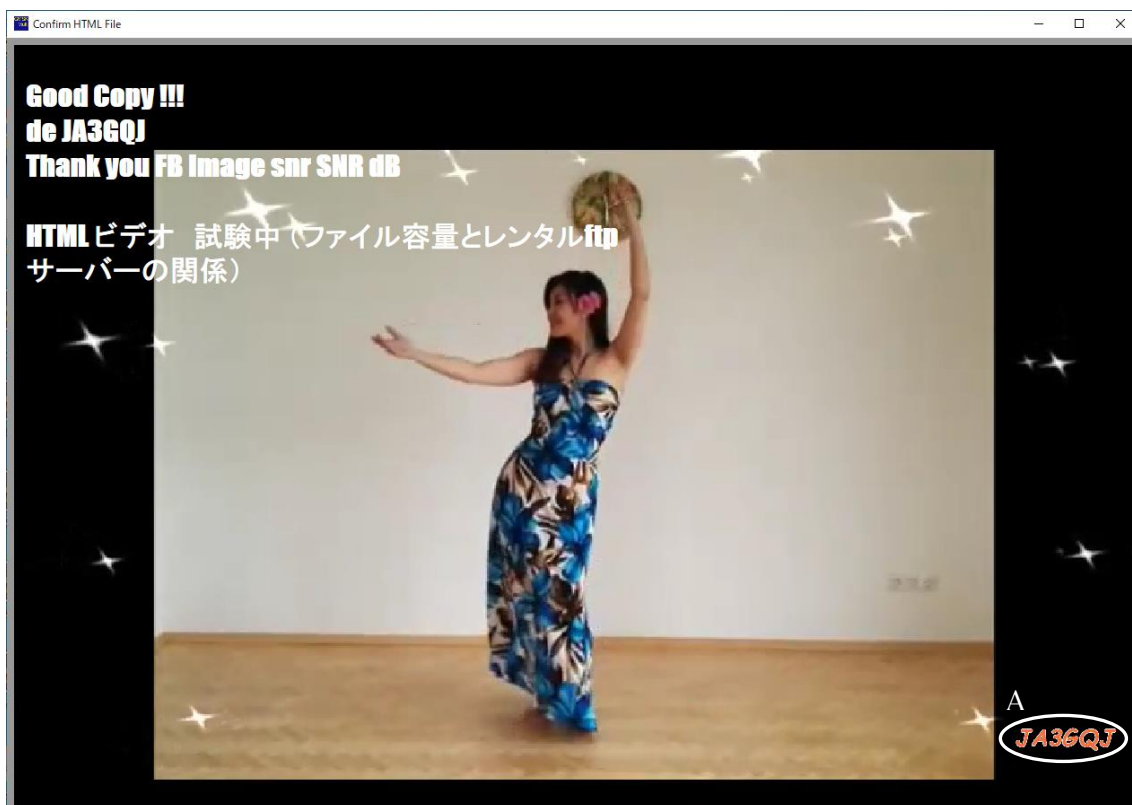


図 10

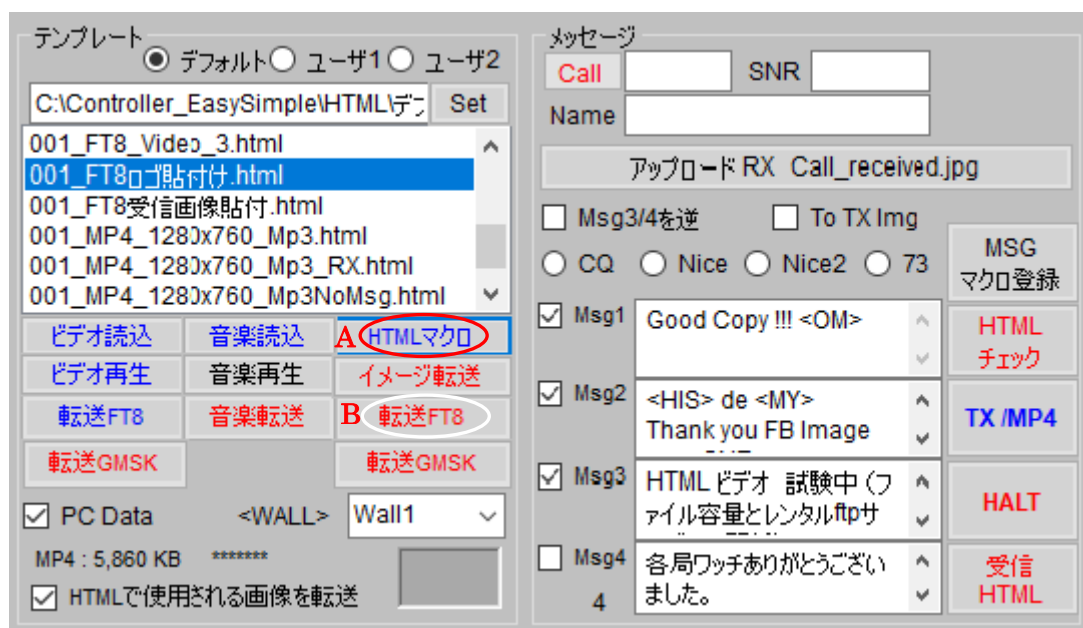


図 11

(備考)

図 1 0 の画面左上の白い文字は図 1 1 で見られるマクロ「Msg1」「Msg2」「Msg3」にチェックマークが付いているからである。QSO に当たってはこのチェックマークを付けたり外したりして送信ビデオの表示文字を変える。

※ → 赤い文字の「転送 FT8」ボタン (図 1 1 B) をクリック → 転送 FT8 ボタンの文字が青色に変わり (図 1 2 -A)、「TX/MP4」ボタンの表示が「TX HTML」に変わる (図 1 2 -B)。 → と同時に「HTML チェック」ボタンの文字が青色に変わり (図 1 2 -C) → HTML ファイルが「JA3GQJ.html」のファイル名で ftp サーバーにアップされる。 → 送信準備完了。



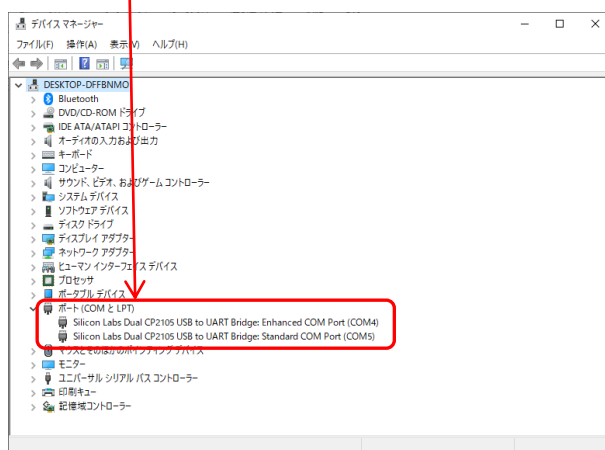
図 1 2

3. JTDX の FT8 モードで送信

3-1. Yaesu FT-710 トランシーバー

- ・八重洲の取説に従って仮想 COM ポートおよびサウンドカードドライバーをパソコンにインストールする。

仮想 COM ポートインストールの確認は、パソコンのデバイスマネージャーを開いてポート (COM と LPT) に次のリストの有無を確認する。



・JTDX の「Radio」 タグの設定

JTDX には FT-710 がリストにないので図 1 3 の通り FT-991 を選択。 → 市販のプリンター用 USB ケーブルでパソコンと接続する。

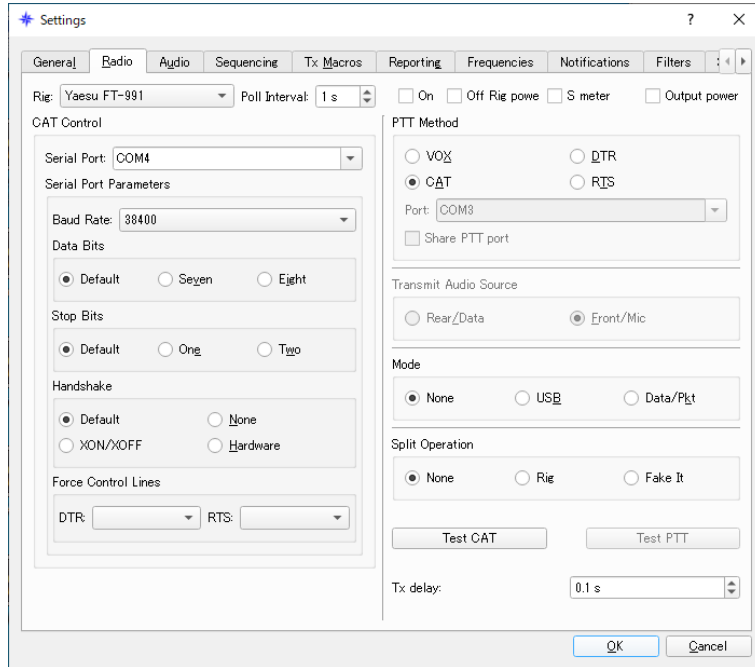


図 1 3

・「Audio」 タグの設定

先にインストールした仮想サウンドカードドライバー図 1 4 を選択する。



図 1 4

・「Tx Macro」 タグ

Controller GMSK で定められたコマンドのマクロ (図 1 5) を登録する。

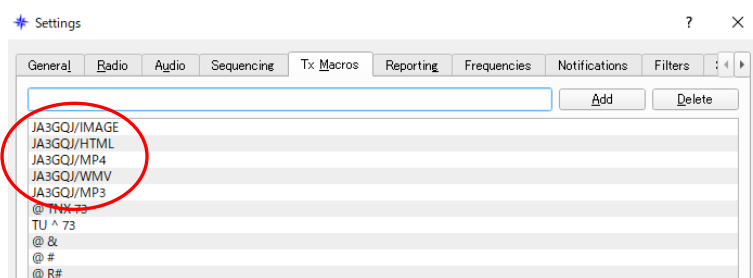


図 1 5

- ・「Frequencies」タグ
- ・FT8の運用周波数 7.172Mhz と 7.110Mhz (図 1 6) を追加。

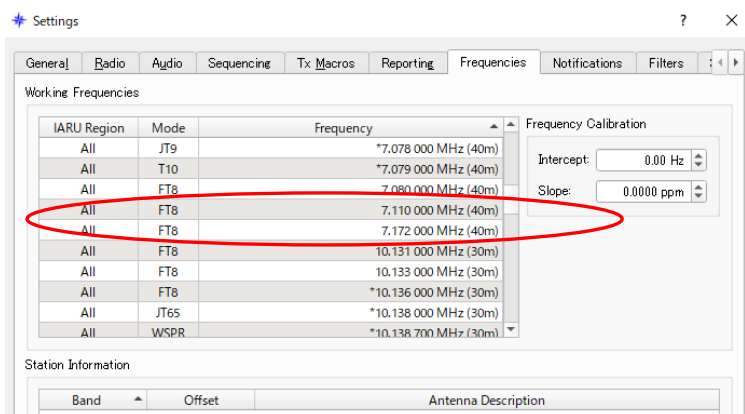


図 1 6

3-2. Peanut

- ・ Controller GMSK から Peanut の操作ができる。
- ・ 次の URL に操作方法など詳しい説明がある。
<http://radioham.mydns.jp/imgqso/Peanutexperienc.pdf>

3-3. Client Peanut

- ・ 次の URL に操作方法など詳しい説明がある。
<http://radioham.mydns.jp/imgqso/ClientPeanutexperienc.pdf>

3-4. Discord

- ・ 次の URL に操作方法など詳しい説明がある。
<http://radioham.mydns.jp/imgqso/Discordexperienc.pdf>

3-5. JTDX のコントロールパネル

図 1 7 の通り「Free msg」でコマンドマクロは「JA3GQJ/HTML」を選択する。それ以外のコマンドでは On Air & Report に「ListNoImage」のレポート (図 1 8) が返って交信相手にはビデオが見えない。

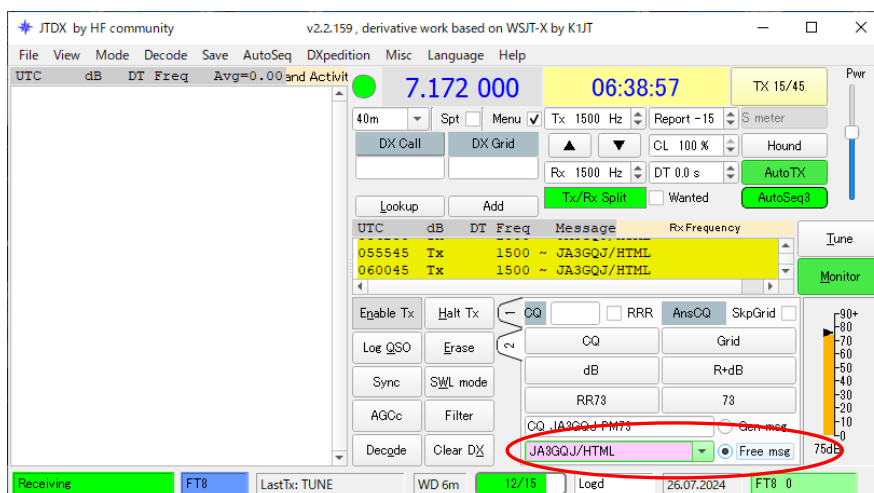


図 1 7

On Air & Report List	
==FT8 OnAir ==	JA3GQJ_JA3GQJ_FTP+3dB
7K4PJL_7.172-tv006	JA3GQJ_JA3GQJ_NoImage
JA0AYH_7.172-tv006	
JA2FBE_7.172-tv006	
JA3GQJ_7.172-tv006	
JA7ESW_7.172-tv006	
JA8ESK_7.172-tv006	
JF3GOH_21.337-tv006	

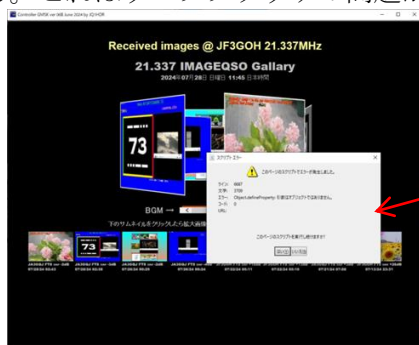
図 1 8

処置したこと

- ・海外局が使用している qsl.net の ftp サーバーは送信ファイルのアップには不向きなのかビデオファイルの容量とレンタル ftp サーバーの関係なのかビデオを埋め込んだ送信用 HTML ファイルがアップロード出来ず、送信しても、レポート「NoImage」が返ってくる。そこで Digi-Sites への受信画像アップ専用とした。
- ・国内の StarFree と Xfree は送受信のファイルアップが出来る。
- ・HTML に埋め込むビデオファイルのサイズを「VideoPad 動画編集ソフト」を使って 1280 x 720 に統一した。

気付いた事

- ・「C:/ Controller_EasySimple/RXHTML」に保存されるビデオを埋め込んだ HTML ファイルのビデオ再生が出来ないケースがある。これは HTML にビデオを埋め込に使用するタグ (video タグか iframe タグか) の問題か、それともウェブブラウザの問題か……。どうやら video タグに controls 属性を追加するとよさそうである。
- ・ビデオと一緒に受信画像を送信した時、RXHTML に保存されているファイルの受信画像は送信した時のものと異なり、常に、直近に受信したものになるが、受信画像は Digi-Sites の画像を張り付けているので当然の結果か……
- ・ビデオファイルは HTML に埋め込まなくても直接送信もできる。受信側では、受信ごとにファイル名がつけられて「C:/Controller_EasySimple/RecVideo」に保存され、ファイルの再生には問題がない。
- ・HTML ファイル受信時に下図のスク립トエラーがポップアップするが保存したファイルを再生した時は正常でスク립トエラーはポップアップしないケースがある。これはウェブブラウザの問題か……。



- Windows10 と Windows11 では C:/ Controller_EasySimple/RXHTML に保存されるビデオファイルを埋め込んだ HTML ファイルの再生方法が異なる場合があるかも知れない。

As of July 30, 2024